

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.160

2013/03/26

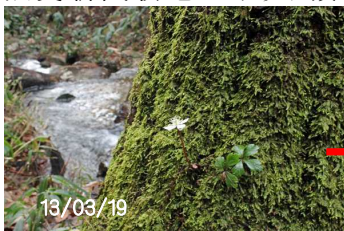
山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

総会終了即座に新年度保全作業開始



天然更新試験地食害防止ネット設置(13/03/24)

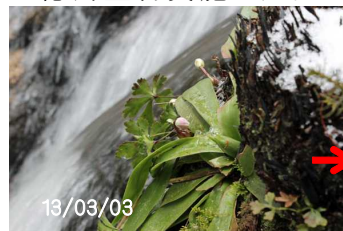
森の保全作業の種類は多種多様、しかも待ったなしというものが多い。食害防止作業もその1つ。雪融け一番葉芽が早い南部湿原のミツガシワの食害防止のためのネット設置を行った。つづいて天然更新試験地のネット設置作業を多くの会員の出動で総会翌日実施した。



13/03/19



13/03/24



13/03/03



13/03/08

シカの糞

雪融けから現在まで沢沿いのバイカオウレンが訪問者を楽しませてくれるのだが、数日前「バイカオウレンが木橋と上の溪流の岩に沢山咲いていましたが、昨日は茎は有っても花がありませんが、これは獣害ですか?どんな獣が食するのですか・・・教えてください。」という問合せが E-mail でありました。返信に上の画像をお送りしました。大きな群落はいうまでもないのですが、画像のように一花だけというのもシカに喰われます。上の画像の犯人は



南部湿原食害防止ネット設置(13/03/11)

いつもこのルートを歩いている子ジカ(足跡と糞の大きさから)だろうと推定しています。シカの食害は確かに年々増大していますが、ブナの森などでは未だ健全なチマキザサ群落が残っていますが・・・。



健全なチマキザサ群落(13/03/16)



上の画像は伊藤会員が「大窓」に設置した固定カメラでインターバル撮影された 1 枚です。昨年暮れから会員間で早朝観察がちょっとしたブーム?になっていますが、この場合は天気図を片目に予想して出かけますが、予想の的中とはなかなかいきません。その点、固定カメラは常時状態把握が出来貴重な資料となります。動物観察用の固定カメラは、現在 2 台が稼働しておりこの方は、森林キーパーの富岡氏が管理してくれており、その成果の一部は今回刊行した「山門水源の森」報告集 Vol.7 に収録されています。

今年は花の開花が早い

今冬は積雪量が例年の半分。今後無いとは言えないが積雪を伴う最終の降雪も今年は 2 月 25 日。昨年は 3 月 12 日と遅かった。

この影響か今年の花の開花は昨年に比べると 10 日以上早い。これから開花が進む人気の花の



昨年のは、次の通りでした。

イワナシ (4/15) ・ タムシバ (4/15) ・ トクワカソウ (4/15) ・ ユキバタツバキ (4/20) ・ ヤマザクラ (4/24) ・ スミレサイシン (4/25) ・ トキワイカリソウ (4/30) ・ カスミザクラ (5/1) ・ ミツガシワ (4/30) ・ ユキグニミツバツツジ (5/2)。

さて今年は何時が見ごろになるか訪問される方が予想してお出かけ下さい。何はともあれ、お出掛けが全ての始まりです。新しい会員も出かけることで「ミイラ取りがミイラに」という方が漸増しています。そこから自身の課題を見つけれられているようです。地域住民の方も同様で、「エッ! 自分の家の周りと同じだと思っていたのだが・・・」という方も増えてきました。

